

第1回フットサルリボン Enjoy イベントレポート

日時：2014年4月26日12時00分～14時00分

場所：東京・お台場 「フットサル台場」

対象：がん患者（体験者）及びその家族、フットサルが好きな人（37人）

概要：1、チームに分かれてミニゲーム
2、ブースではがん啓発と募金活動
3、検診無料クーポン券を配布

参加選手： デウソン神戸 鈴村 拓也選手
湘南ベルマーレフットサルクラブ 久光 重貴選手

実施レポート

1、チームに分かれてフットサル

快晴のお台場フットサル場。気温が24度まで上がり初夏を感じさせる絶好のフットサル日和になりました。フットサルが好きでたまらないという人や、がんの闘病中の人やそのご家族、サバイバーの人たちが37人も参加してくれました。

まずは現役フリーガーの久光重貴選手（湘南ベルマーレ）、鈴村拓也選手（デウソン神戸）のお2人から、会の趣旨説明と挨拶がありました。

フットサルでみんなが出会い、つながり、笑顔になって良い時間を過ごそう、その上でフットサルリボンの意味を知ってもらい、小児がん啓発と患者支援のため協力をお願いしますと話しました。



37人を7チームに分けていきなりゲーム開始！フットサルはサッカーと比べて手軽なことから女性や子どもの参加者も多く、キビキビとした動きを見せていました。

久光選手、鈴木選手はさすがプロの腕前を見せ、そのボールさばき、光る足技には感嘆の声も上がりました。

午前中同会場で試合をしていた少年チームも途中から参加することとなり、選手らと一緒に写真を撮ったり募金をしてシリコンバンドを着けたりと大はしゃぎでした。その子どもたちにも久光選手は小児がんのこと、自分も病気と闘っていることを分かりやすく説明、子どもたちはふんふんと頷いていました。

2、ブースではがん啓発と募金活動

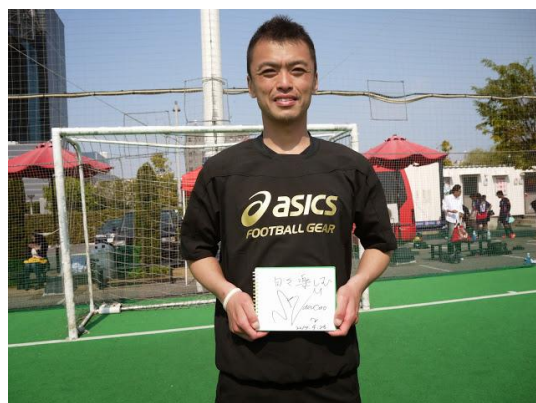
協会は試合会場にブースを設け、フットサルリボン活動の説明、リーフレットの配布、募金のお願いとシリコンバンドの配布を実施しました。また協会のがん相談ホットラインから担当者が出向き、がんの相談にも乗りました。

検診を一度も受けたことがない方から「検診はいつ受けたらいいのか、何歳からか」「症状が出てからでも遅くはないのか」など検診の質問が相次ぎました。また、がんの経験者は自らの闘病生活のこと、自分のがん経験を周りにどう生かしていくか、など活動への思いも語ってくれました。



3、検診無料クーポン券を配布

参加者には大腸がん、子宮頸がんの無料検診クーポン券のいずれかを配りました。「子宮頸がんのクーポン券を欲しい、渡したい人がいるから」と照れ気味にやってきた男性や、「自分も受けているから、必ず受けさせます」とおっしゃった方もいらっしゃいました。



●参加者の感想

・率直に楽しかったです。コート2面を使って、途中参加の僕でもかなりプレーできましたし、久光さん、鈴木さんも混ざってくれたので、参加者にとっては満足度が高かったんじゃないかと思います。また、こういった個サルでは空気を読まずにプレーする人がいるのですが、このイベントは参加者のみなさんが子供や女性に気を使っていたのも印象的でした。

・啓蒙活動という点では、久光さんがブース付近で子供たち（十条FC）に小児がんについて話をしていたり、対がん協会の方が見学に来られていた奥さんや彼女に子宮頸がんの説明をしながらクーポンを渡していたりしていて、参加人数以上の広がりがあったんじゃないかと思います。

・久光さんや鈴木さんと楽しくフットサルできるだけだけでなく、がんという病気について考えることができ、自分ごととして意識出来ました。また、がん検診の無料クーポンを頂くことで行ってみようという気になりました。検診の大切さを身の回りの人達にも話すきっかけになります。

・僕自身、フットサルなんて全く縁はなかったのですが、今回のイベントは体を動かすことが出来て凄く楽しかったです！イベントを通じて、久光選手や鈴木選手が元気に走り回っている姿を見て、ああがんって克服できるんだなあとしみじみ実感しました。

・フットサルリボンのブースに募金箱があったので募金したら、すごくお洒落なリストバンドを頂きました。このリストバンドだけでも普通に売れると思います。笑。

・最後に配られた無料検診クーポン券。僕は大腸がんの検診のものを頂きました。がんセンターに通院している僕には必要ないかもしれませんが、そのクーポンを両親へプレゼントしたいと思います。こうやって、検診の輪が広がっていくのかなということを肌身に感じました。

・がん患者の運動といえば、何故かマラソンが主流でしたが、フットサルという新たなジャンルのスポーツは良いと思います！鈴木選手、久光選手にお会いできて楽しく運動できたイベントでした！また是非、友達を誘って参加したいと思います！

・まず楽しかったことを第一にして久光選手や鈴木選手みたいにがんに対してこんなにも前向きに考えている人がいることがビックリしました。これからは、私もできる限りサポートしていきたいと思いました。

